

数学科学習指導案（略案）

令和2年2月7日 金曜日 2校時
高等部数学Bグループ 男子3人 女子2人 計5人
指導者 川越 正仁(CT) 飛田 真里(ST)

1 題材 「図や表で表そう」

2 本時の学習(8/10)

(1) 全体目標

友達と話し合っって数量を調べたり，確認したりする活動を通して，各作業班の製品数を表にまとめることや表の数値を基に作業製品の出来高を絵グラフで表すことができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 表の数値と作業製品イラストの数を対応させて，作業製品の出来高を絵グラフで表そうとする姿 <主体性，思考・判断・表現>
- ② 友達と協力して具体物を数えたり，表の記入や絵グラフの作成をしたりする姿
<思考・判断・表現，人間関係，言語能力，課題発見・解決能力>

(3) 個人目標

生徒	個人目標
U. K o (1年，男)	役割カードや友達の意見を手掛かりにして作業製品を数えて伝えることで，友達と一緒に表にまとめることや，作業製品数を写真の数と対応させて絵グラフで表すことができる。
U. M (1年，女)	絵グラフ作成手順カードを手掛かりに，友達に役割や自分の意見を伝えることで，友達と一緒に表の作成に必要なことを調べて表にまとめたり，表の数値から出来高を絵グラフで表したりすることができる。
U. K i (1年，女)	意見カードを手掛かりにして，友達に表の記入や作業製品の計数を依頼したり，分かったことや友達の計数の正誤を身振りで伝えたりすることで，作業製品数を表にまとめ，表の数値と作業製品写真を対応させて絵グラフで表すことができる。
Y. S (2年，男)	役割カードや友達の意見を手掛かりにして作業製品を数えて伝えることや，友達の計数を見て正誤を判断して伝えることで，友達と一緒に表にまとめ，作業製品数を写真の数と対応させて絵グラフで表すことができる。

(4) 実際【①, ②は授業で目指す姿（資質・能力）の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (10)	1 始めの挨拶をする。 2 前時の振り返りをする。 3 本時の学習を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 作業製品の数を調べて、絵グラフで表そう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて学習ファイルを活用したり、前時までの作成した絵グラフを掲示したりして、前時の学習を想起できるようにする。 ・ 作業製品を提示したり、学習で使用する表やグラフを確認したりしながらめあてを示すことで、本時の学習に見通しをもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示用絵グラフ例 ・ 前時で作成した絵グラフ ・ 木工班製品 ・ 窯業班製品 ・ ワークシート
展開 (35)	4 各作業班の製品数を調べて、絵グラフを作成する。 (1) ペアの友達と話し合っ、役割を決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【グループ1】CT U. Ki, U. Ko</p> <p>【グループ2】ST U. M, Y. S</p> </div> (2) 製品を種類別に分ける。 (3) ペアの友達と作業製品の個数を調べる。 (4) 調べた結果を表にまとめる。 (5) 表の数値を基にペアの友達とグラフに作業製品の写真を張り、絵グラフを作成する。 5 まとめた結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ①, ② 絵グラフ作成手順表を掲示し、手順を全員で確認することで、グループの友達と表をまとめたり、絵グラフを作成したりすることができるようにする。 ① U. Ko, Y. Sには、役割カードを示すことで、自分の役割に見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。 ①, ② U. Mには、絵グラフ作成手順カードを用意することで、必要に応じて自分で手順を確認しながら友達に意見を伝え、絵グラフを作成することができるようにする ② U. Kiには、意見カードを用意することで、「書いてください。」や「数えてください。」と伝える手掛かりにすることができるようにする。 ・ グループごとに作成した表や絵グラフの結果を発表することで、正しく作成できたところや、相違点から修正するところを共有することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示用絵グラフ作成手順表 ・ 役割カード ・ 各作業班の製品 ・ 絵グラフ作成手順カード ・ 意見カード ・ 絵グラフ用製品写真 ・ 掲示用模範絵グラフ
終末 (5)	6 本時の振り返りをする。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習について発表した内容について質問したり、掲示したワークシートと照らし合わせて確認したりすることで、学習したことの理解を深めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート

